

## 不登校生徒や保護者とのオンライン面談等による支援について

### 【板橋区の取組】

#### 不登校児童・生徒の状況

対象生徒は、現在、中学校第1学年である。小学校時代に起立性調節障害がもとで学校を休みがちになった。中学校へ進学し、4月当初は登校できていたが、5月から登校できず、学校は、定期的な家庭訪問や電話連絡で対象生徒への支援を続けていた。

#### 具体的な支援

板橋区立学校では、令和3年度2学期から、区内の小・中学校で一人1台の学習者用端末を活用し、授業の様子を配信する形でのオンライン授業を行っている。

また、板橋区教育委員会では、家の外に出ることが難しい不登校児童・生徒に対してオンラインでの学習支援の一環として、会計年度任用職員用アカウントを各学校へ付与している。

各学校では、付与された会計年度任用職員用アカウントを活用して、スクールカウンセラーが不登校児童・生徒及びその保護者とオンライン面談などを実施している。

不登校になった対象生徒への対応に苦慮していた保護者に対して、スクールカウンセラーによるオンライン面談を実施したことで、家庭での心理的な負担を軽減するなどの支援をすることができた。

また、学級担任は対象生徒と電話でやりとりをしていたが、オンラインで顔を見ながら話ができるようになり、学級担任との関係が深まった。

その後、対象生徒は少しずつ、オンライン授業に参加することができるようになり、その結果、定期的な放課後登校につながり、学習支援の充実を図ることができた。



授業のオンライン配信

#### 成果

スクールカウンセラーが保護者とオンラインで面談を実施することで、保護者及び対象生徒に対する心理的な側面からの支援につながった。

#### 課題

次年度に向けて、支援を継続するとともに、不登校生徒の社会的な自立に向けて進路指導の充実を図る必要がある。